

【資料1】
第1回運営支援協議会
令和3年12月10日

与野本町小学校複合施設 (愛称：いーよの)

～これまでの経緯について～

公共施設マネジメントの考え方

中長期的には、人口減少や少子高齢化に伴う税収の減少が見込まれることや、今後、市内の多くの公共施設の改修や建替えが必要となり、多額の費用の支出が見込まれることから、「公共施設マネジメント計画」を策定しました。

公共施設マネジメント計画

古い公共施設が多い
(建替費用がかかりすぎる)

その解決方法として

できるだけ
施設を減らす

建替費用を
減らす

新設の
抑制

複合化

長寿命
化

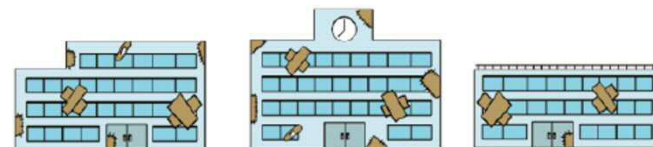
複合化のイメージ

老朽化した公共施設

A 公民館

B 小学校

C 福祉施設

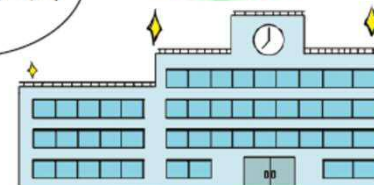


建てかえ



複合化

小学校・公民館・
福祉施設の複合施設
としてコミュニティ
の拠点に



空いた土地は
貸し出しや売却
など活用

与野本町小学校における複合化の検討の歩み

2013年度からワークショップや意見交換会を開催し複合化の検討を始め、2020年度6月に複合施設のオープンに至りました。



与野本町小学校複合施設（愛称：いーよの）の概要

この施設は、老朽化した与野本町小学校の北校舎（1958年建設）と給食室（1970年建設）の建替えに合わせて、市民の皆さんの意見を取り入れつつ、子育て支援センターよの、与野本町放課後児童クラブ、与野郷土資料館からなる複合施設として整備したものです。

(1) 子育て支援センターよの

3歳未満の子どもとその保護者の方に、親子同士のふれあいの場、子育て中の方との出会いの場を提供します。
(旧与野公民館から移転。)



(2) 与野本町放課後児童クラブ

保護者が働いているなどで、家庭が留守となる小学生に、放課後の生活の場・遊びの場を提供します。
(既存校舎から移転。)



(3) 与野郷土資料館

昔遊びを中心とする体験展示と、与野地域に焦点を当てた通史展示で「与野らしさと与野の誇れる特徴」を伝えていきます。
また、地域のボランティアの方々と子どもたちとの多世代交流が生まれる場を提供します。
(旧与野公民館から移転。)



(4) 地域サロン、憩いの庭

複合化に合わせて地域の方の交流の場も設けました。
どなたでも自由にご利用いただけます。
地域サロンの前には、花壇のある憩いの庭も整備しています。



愛称について：市民の皆さまに親しんでいただけるよう、愛称を募集し、（仮称）さいたま市立与野本町小学校複合施設運営準備協議会の意見を踏まえ、「いーよの」と決定しました。また、愛称のロゴも作成しました。

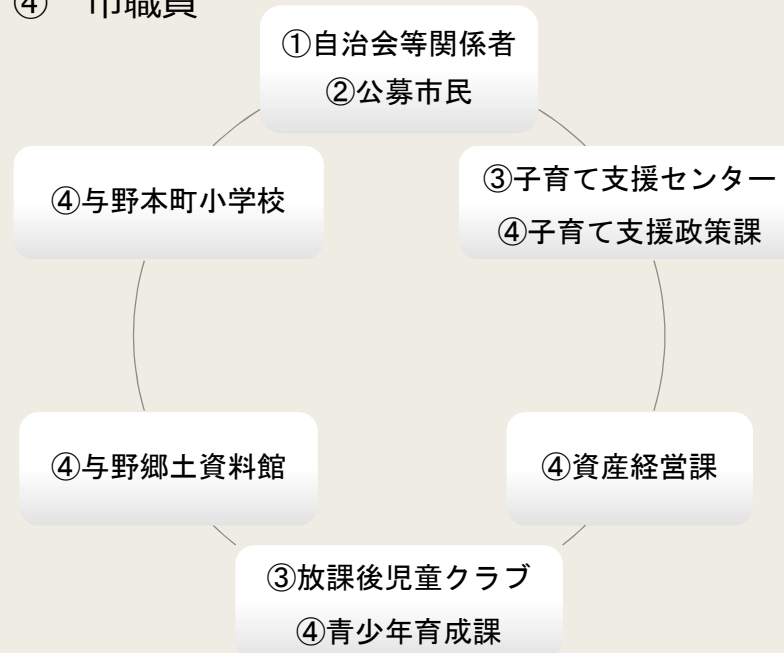


与野本町小学校複合施設運営支援協議会について

複合施設の運営に当たり、共用部の利用及び管理に必要な事項についての意見を聴取し、複合施設の運営へ反映することを目的として、「さいたま市立与野本町小学校複合施設運営支援協議会」を設置しています。

《メンバー構成》

- ① 自治会、市民団体その他の関係団体の関係者
- ② 公募による市民、複合施設利用者
- ③ 複合施設の運営に携わる民間事業者
- ④ 市職員



《運営協議会で協議すること》

- ・地域サロンの利用に関する事
- ・憩いの庭の利用、花壇の管理に関する事
- ・その他共用部分の利用に関する事。

※複合施設の運営、管理に関する事は、施設管理者間で連絡調整を行っており、連携を図りながら市で責任を持って行っております。

《運営協議会の運営方法》

- ・委員の任期は3年
- ・事務局は市が担い、年度数回程度開催する
- ・その他は運営準備協議会に準じる